

さくら学級 数学科 学習指導案

日 時 2025年10月15日（水）

第1校時 9:45～9:35

対 象 さくら学級 9名

会 場 さくら学級1組

1 単元名 「時間と時刻」

2 単元の目標

- (1) 時計の時刻（時・分）を正しく読む技能を身に付ける。
- (2) 時刻や経過時間を生活の中で活用できる。
- (3) 時間を意識した生活の仕方について、生活に生かそうとする態度を身に付ける。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①時刻を正確に読むことができる。	①時計の仕組みを理解し、生活の中で活用できる。	①時間を意識した生活の仕方について、生活に生かそうとしている。

4 単元指導計画（全5時間扱い）

時	目標	学習内容・学習活動	評価
1～2	・時間や時刻について知る。 ・とけいの時刻を読みとる。	・長針と短針の読み方。	ア-①【プリント】 イ-①【プリント】
3	・前・午後を理解して時刻を読む。	・生活時間表を作り、午前・午後を使って時刻を表す。	ア-①【プリント】
4～5 (本時)	・時間経過の調べ方を知る。	・○時から○時までの経過時間 を理解する。 ・時の単位（1時間=60分）を使って、経過時間を生活場面で考える。	イ-①【プリント・キュビナ】 ウ-①【観察】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



- ・授業の始めに行う九九練習では、生徒が自分で学習したい九九のプリントを選択して取り組む方式を取り入れる。
- ・アナログ時計の操作アプリを使用し、生徒が自分で時計の針を動かしながら「時間がどのように変化するか」を体験的に理解できるようにする。
- ・授業では、生徒がプリントとキュビナのどちらかを自分で選んで学習する形式にすることで、自分のペースに合わせた学びを設定する。

6 本時の指導（全5時間中の4時間目）

(1) 本時の目標

- ・時間経過の調べ方を知る。

(2) 本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 10分	○本時の目標、学習内容の確認を行う。	□生徒が見通しをもって学習に取り組めるように、黒板に本字の流れを掲示する。
展開 35分	○九九プリントに取り組む。 ◎2～9の段のプリントの中から各自選択させる。 ○時間経過の数え方の説明を聞く。 ○練習問題に取り組む。	□プリントが終わった生徒から丸付けをし、その場で振り返りをさせる。 ◎自分が取り組みたい九九の段のプリントを取り組ませる。  □日常生活などイメージしやすい時刻を提示して、関心を高めさせる。 □起床時間からどのくらいの時間が経過したのか考えさせる。 ◆ウ-①（観察） ◎プリント、キュビナから選択させる。 ◆イ-②（プリント・キュビナ） 
まとめ 5分	○本時の振り返りを行う。	□時間経過の求め方は、日常生活においてとても重要なことを伝える。